

 市場価格

ドル建て      ドル/toz

Platinum	Price	Date
Open	897.30	2024/3/25
High	913.35	2024/3/29
Low	889.80	2024/3/27
Close	912.05	2024/3/29

円建て      円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4366.00	2024/3/25
High	4440.00	2024/3/29
Low	4327.00	2024/3/27
Close	4438.00	2024/3/29

ドル建て      ドル/toz

Palladium	Price	Date
Open	987.17	2024/3/25
High	1028.50	2024/3/25
Low	969.70	2024/3/27
Close	1018.38	2024/3/29

円建て      円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	4812.00	2024/3/25
High	5002.00	2024/3/25
Low	4716.00	2024/3/27
Close	4956.00	2024/3/29

 ニュースエクスプレス2024年のジンバブエのプラチナ生産は昨年の過去最高から減産  
予測

ジンバブエの昨年のプラチナ生産高は、3つのプラチナ鉱山全てで増産となり過去最高の16.2トンとなった。ジブラフツは2023年下半年続わりに3つ目となる選鉱設備を稼働させ、前年比で7%の増産。モサ鉱山とワンキ鉱山の生産もそれぞれ前年比で6%（約0.4トン）増えた。今年は、埋蔵量の減少と小規模な露天掘り鉱山ニッ所で鉱山寿命が終わりに近づいているため、生産量が少し減って15.9トンとなる予測だが、それでも過去最高の生産高となるだろう。Karo プラチナ鉱山は現在のところ2025年から生産稼働となる予定だが、計画通り進めばジンバブエの生産を押し上げることができよう。南アフリカで進んでいるプラチナ生産会社のコスト削減はジンバブエにも及び、ジムブラフツは希望退職者を募集すると発表しているが生産に影響はないだろう。

南アフリカのプラチナ生産も今年は前年比でマイナス1%となる予測で、プラチナ市場はタイト感が増すだろう。しかし2016年～2022年の供給過剰期間に蓄積した地上在庫がまず減らなければプラチナ価格が供給不足に反応する可能性は低い。先週のPGM 価格は4.59% 下がって 896ドル/オンスだったが、パラジウムほど下がらなかった。

[https://www.heraeus.com/media/media/pgmi/pgmi/doc/pgm\\_metal\\_update/en\\_6/Appraisal\\_20240325.pdf#remote=ng/WZ2omwDpyEQ2R9KZGyngXKcJp-cWB8P7\\_HR4U](https://www.heraeus.com/media/media/pgmi/pgmi/doc/pgm_metal_update/en_6/Appraisal_20240325.pdf#remote=ng/WZ2omwDpyEQ2R9KZGyngXKcJp-cWB8P7_HR4U)

Translated by Kazuo OSAWA

## 田中貴金属グループ、国内最大級500kW燃料電池発電設備を導入し生産工場における水素エネルギー活用を推進

TANAKAホールディングス株式会社は、田中貴金属グループリサイクル事業の重要拠点である神奈川県湘南工場に、国内の民間利用では発電容量が最大級となる500kW(キロワット)定置型純水素燃料電池設備を導入する。発電効率を最速に制御する東芝エネルギーシステムズ製純水素燃料電池「H2Rex™」の設置を決定し、2026年に稼働を開始する。

[https://tanaka-preciousmetals.com/ja/news\\_release/20240312/](https://tanaka-preciousmetals.com/ja/news_release/20240312/)

 WPIC直近の活動

南アフリカのPGM 鉱山会社各社は、2023 年中の PGM バスケット価格の下落への対応として、コスト削減を中心とした再編成計画を発表している。実質的な設備投資のカットは鉱山会社の生産維持能力に影響を与える。将来供給が減るリスクはプラチナ市場の供給不足を拡大する可能性がある。詳細は**プラチナ展望 - 2024年3月号**をご覧ください。

[https://platinuminvestment.com/files/perspectives/jp/WPIC\\_Platinum\\_Perspectiyes\\_March\\_2024/Platinum%E2%80%99supplyriskcannotbeoverlooked\\_JA.pdf](https://platinuminvestment.com/files/perspectives/jp/WPIC_Platinum_Perspectiyes_March_2024/Platinum%E2%80%99supplyriskcannotbeoverlooked_JA.pdf)

成長目覚ましい生成 AI 市場の 2022年の市場規模は400億ドル、さらに今後10年間で 1.3 兆ドル以上になると言われている。プラチナの高い導電性と安定性から、AI技術に必要な不可欠な半導体のスパッタリングターゲットに使われ、今後プラチナの需要にも貢献する。バッテリー電気自動車の普及に伴うプラチナの薄膜を使ったセンサーや、ウェアラブル端末のセンサーにも活用されている。詳細は**プラチナ豆知識 - フィルムに使われるプラチナ**をご覧ください。

[https://platinuminvestment.com/files/sixtysecs/jp/WPIC\\_60seconds\\_Platinum\\_on\\_film\\_03\\_21\\_2024\\_JA.pdf](https://platinuminvestment.com/files/sixtysecs/jp/WPIC_60seconds_Platinum_on_film_03_21_2024_JA.pdf)

水素研究の第一人者 Ock Taeck Lim 教授が、水素経済の発展が韓国経済に対する重要性から、政府の水素経済促進策、水素輸入の割合と重要性、韓国内の水素補給ステーションの普及状況、今後5年から10年の燃料電池自動車市場の成長見通しまで、韓国の水素経済の発展について語る。詳細は**プラチナ豆知識 - 韓国の水素戦略**をご覧ください。

[https://platinuminvestment.com/files/sixtysecs/jp/WPIC\\_60SIP\\_Hydrogen\\_in\\_South\\_Korea\\_03\\_14\\_2024\\_JA.pdf](https://platinuminvestment.com/files/sixtysecs/jp/WPIC_60SIP_Hydrogen_in_South_Korea_03_14_2024_JA.pdf)

前回お届けしたプラチナ四半期レポートのプレゼン資料につき、WPICは2023年第4四半期のプラチナ四半期レポートを発表。2023年の総括として、プラチナ市場は強い需要と弱い供給で27.3トンの供給不足に続き、2024年はプラチナ市場は供給不足のままで地上在庫はさらに縮小されるため、プラチナ市場は2年連続で供給不足になる見通し。詳細は**プラチナ四半期レポート - 2023年第4四半期**をご覧ください。

[https://platinuminvestment.com/files/324194/WPIC\\_Platinum\\_Quarterly\\_Q4\\_2023\\_JA.pdf](https://platinuminvestment.com/files/324194/WPIC_Platinum_Quarterly_Q4_2023_JA.pdf)



免責事項: 本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を構成するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。